校訓	真 善 美	平成28年度学校だより 「荒中だより」 第38号	発行日	平成29年3月1日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 -豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長　難波 重之

３月は節目の月です



今年度最後のテストである学年末テストが先週終わりました。皆さん、ベストを尽くせましたか？

さて、今日から３月ですが、３年生にとっては**卒業という大きな節目（ふしめ）を迎える月**です。『中学校卒業』というのは、人生の中でいくつかある大きな節目の一つだと思います。**人は節目ごとに振り返ることで成長を実感する**ことができます。１，２年生もこの機会に一年間を振り返り、自分の成長をしっかりと見つめ、４月からの新たなスタートに向けて目標を持ってほしいと思います。３年生は登校できる日もあと７日となりました。一日一日をしっかりとかみしめ、残りの日々を過ごしてください。そして、**皆さんで素晴らしい卒業式を創り上げましょう。**

コミュニケーション・トレーニングを行っています

現在荒牧中学校では、週２回（火曜日の朝読書時、木曜日の終礼学習時）、コミュニケーション・トレーニングを行っています。昨年１１月に始めたこの取り組みは、生徒の皆さんがグローバル化や情報化が進む**これからの社会において、力強く生きていく力をつけるため**のものです。これからの社会では、**筋道立（すじみち）てて考え、わかりやすく説明し、ほかの人と協力してより良いものを創り出していく力**が必要です。このトレーニングによって、『聞く力』、『話す力』、『書く力』を磨き、毎日の授業に活かしていきます。



２月１４日には、外国から来られた方に荒牧中学校を紹介する文を書きました。５分間で書いたものですが、素晴らしい内容のものを以下に紹介します。

私たちの荒牧中学校は、とてもきれいで換気や健康のことにも気をつかう大人になるための学校です。５つの「ち」や「あじそまる」があって、「勉強は命」など徹底的に教えられます。でもそのおかげで、私たちは良い大人になれるのです。　（１年　茶尻亜美）

私たちの荒牧中学校は、何でも全力で取り組む学校です。体育大会や学習発表会といった学校をあげての行事はもちろん、普段の部活や、学年ごとの校外学習などにも全力で一生懸命取り組んでいます。　（２年　西久保涼葉）

私たちの荒牧中学校は、市内の人から「荒中」と呼ばれ慕われています。荒中はひとりひとりがしっかりとあいさつします。だから、校内はいつも元気あふれる声でいっぱいです。また、荒中は生きる力を学べる学校です。生徒会の活動などにも熱心に取り組んでいます。　（２年　原田伊織）

私たちの荒牧中学校は、元気がある学校です。全校生で合唱する校歌は、四部合唱で難しいにもかかわらず、大きな声で迫力のあるものです。また、授業開始や終了のあいさつ、廊下ですれ違った先生へのあいさつを元気な声でることができます。　（３年　橋本茉那美）

私たちの荒牧中学校は、「真・善・美」を校訓に、あいさつがしっかりできて、部活動と勉強の文武両道を目指している学校です。先生とも仲が良く、授業にも真面目に取り組めます。行事では学校一丸となって楽しめるメリハリのある学校です。　（３年　立田　美織）

３年生球技大会が行われました

２月２４日（金）、３年生球技大会が行われました。前日の雨でグランド状態が心配されましたが、大きなけがもなく、体育委員を中心に和やかな雰囲気の中、全員で成功させることができました。男子サッカーでは各クラス楽しむ中にも勝負にこだわった激しいプレーがくり広げられ、見ていた人の目をグッとひきつけました。

女子ドッジボールでは、試合前の円陣や試合中の声かけからチームワークの良さが感じられました。中学校最後の球技大会で、クラスの団結こ深まり嬉しく思いました。さて、残すは卒業式です。中学校最後の締めくくりにみんなの本気の姿を見せてほしいです。この学年の「良さ」が存分に感じられる卒業式になるよう、過程を大切にしっかり取り組んでいきましょう！　（中町　康太）



男子　１位　３組　２位　１組　３位　５、６組

女子　１位　４組　２位　３組　３位　１組



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!